



広 い 心

学校便り 5号
令和4年 5月 6日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校長 村吉博勝

人権教育（ハンセン病講話）



5月17日(火)、人権教育の取り組みで、知念正勝さん(語り部)の講話を3年生以上の児童を対象に行いました。冒頭に人権ネット宮古共同代表の亀濱玲子さんから、南静園の歴史についてお話を聴き、最後に知念正勝さんの体験を聴かせてもらいました。当時の過酷な生活、ご自身が病気になった時の状況や病気が治った後の状況等についても聴かせていただきました。子どもたちは、講話を通して、宮古島にあった歴史、そして、ハンセン病という病気が過去にあり、そこで大変な思いをした人たちがいたことについて知ることができ、人権等についていろいろ考えることができたと思います。



大きな芋がとれたよ！（仲宗根さん ありがとうございます。）



5月18日(水)の芋掘り体験を全児童で行いました。この体験を提供していただいたのは、狩俣小の向かいにお住まいの「仲宗根 正幸さん」。ご自宅の隣の畑を使って、芋を栽培し、狩俣小の子どもたちが芋掘り体験ができるよう大切に芋畑の管理をしてくれていたそうです。そして、数日前、そろそろ芋が収穫できそうとの連絡があったので、全児童で芋掘りをしました。子どもたちは、思いがけない体験ができ、大きな芋を収穫することができとても満足でした。5・6年生は、その後、家庭科実習で芋を使ったスイーツを作りました。



火災避難訓練

5月19日(木)、今年、最初の避難訓練(火災)を行いました。一階給湯室から火の手があがったという想定で、子どもたちは、担任の先生の誘導に従いながら適切に避難することができました。訓練を終えた後の振り返りでは、「訓練では上手く避難することができたが、本当に起きた場合は、訓練のように行かないかもしれないので、いつも気を引きしめたいです」との感想もあった。避難訓練を通して、最終的には自分の身は自分で守るという危険回避能力を身につけてほしいです。(次回は、不審者避難訓練)

